

令和元年度 学校評価シート 島根県立江津高等学校

評価：4(十分に達成できている状況) 3(おおむね達成できている状況) 2(どちらかと言えば達成できていない状況) 1(ほとんど達成できていない状況)

| 教育目標 | | 重点目標 | 担当分掌等 | 具体的目標 | 江津高校の教育活動 | 校内評価 | 来年度への取り組み | 学校関係者評価 |
|--|---|-------------------------------------|---|---|--|------|---|---|
| <p>【校訓】 思慮 高邁 貫徹</p> <p>誠実を尊び真理と正義を愛し、合理的精神に富む人物の育成</p> <p>意志強固にして勤勉努力する実践的人間の育成</p> <p>豊かな徳性をそなえ和合協力してことに当たる人間の育成</p> | <p>【育てたい生徒像】</p> <p>健康で安全な生活を実践し、持続可能な社会の創り手となるような地域課題の当事者として自覚するとともに、自らの成長のために挑戦する生徒</p> | <p>生徒が出会いを通して感動し、意欲的になる機会を与えます。</p> | 総務部 | 生徒が地域社会と結びつく契機をつくる。 | ・ホームページやPTA広報誌を発行する。 | 3.3 | <p>【総務部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奉仕作業についてPTA専門委員と相談し、保護者・生徒・教職員が協力できるようにする。 ・緊急メールに限定した家庭へのメール配信は現行のままとし、重要な連絡を家庭に対し確実に伝える。 <p>【教務部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器の利用状況は良好であり、利用簿等必要なもの整備し活動を支援する。 ・放課後居残り学習は一定の効果が認められ、今後学習方法の充実を考える。 ・教科指導と連携した読書指導のあり方を模索する。 <p>【生徒部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・清掃監督の適正配置を行い、清掃を時間いっぱい取り組む。 ・いじめの早期発見・早期対応については、適切なアンケートの実施と有効活用を通じ安心・安全で充実した学校づくりを行う。 ・人権・同和教育の取組については、実施している取組等に関してホームページや便り等による広報活動の充実をはかり家庭等に周知する。 ・服装指導は月1回実施し、再指導は生徒部主導で徹底する。服装規定の見直しを実施する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域や社会との関わりについては「江津高校たより」や新聞等で拝見しています。多様でとても良い機会になっていると思うので、少しずつ変化をしながら継続していく活動になるよう考えてみてはどうか。 ・生徒にとって身近な出会いは、高校生活を通しての生徒間、先生方との出会いが人間形成上大きな影響を持っていると考えます。特に、先生方から受ける影響は大きいものがあると思います。授業以外のことを語ってやってほしい。 ・出会いが生徒の人間形成にどのような影響をしたかは、いつの日か本人が判断することです。出会いの効果は、即効性があるものもそうでないもの、時には空振りに終わるかもしれませんが、生徒のためと思われる多くの出会いの機会を与えてください。 ・今年度は地域との関わりがたくさん持てたようで、今後も継続していただきたい。行ったことのアピールの場があるとよいと思いました。「たより」ではなく「発表」の場。 |
| | | | 教務部 | 総合学習・総合探究を支援する。 | ・必要なICT機器の利用を補助する。 | 3.1 | | |
| | | | 生徒部 | 地域との関わりの中なかで社会性を身につけ、豊かな心を養う経験を支援する。 | ・さまざまな集団活動を通して、社会生活のマナーおよびモラルを養成し、自分の在り方や生き方を模索する態度を養う。 | 3.0 | | |
| | | | 進路指導部 | 地域をテーマにした課題探究学習活動を行う。 | ・2年次の地域課題探究学習で2年生生徒全員に地域調査やフィールドワークを体験できるように支援を行う。 | 3.5 | | |
| | | | 学年部 | 1年：地域や社会との関わりを意識し、自己の成長につながる経験を積む。 2年：地域とつながり、自己の活かし方を学ぶ。 3年：将来の夢に向かって、地域の中で学ぼうとする姿勢を構築する。 | 1年：キャリア学習で地域との関わりを意識し、自己理解を深める。進路サポートを活用し、1年間の記録を踏まえてレポートを完成し、発表する。 2年：総合的な学習の時間やボランティア活動、各種体験活動等に積極的に取り組ませる。 3年：自分の興味や関心に応じた、ボランティア活動や各種体験、資格試験や検定試験などに意欲的に挑戦する。 | 3.1 | | |
| | | | 事務部 | ・学校施設・設備の安全・安心な環境を整備する。 ・学校予算の効率的・効果的な執行を行う。 | ・校地内施設・設備等の日常点検等により、問題の早期発見に努め、事故等の未然防止に取り組む。 ・計画的に校内の整理・整頓、不要品の処分等を行い、優先順位を考慮しながら、教育環境の向上に努める。 ・適切な予算管理を行い、必要性・費用対効果等を勘案しながら執行する。 ・就学支援金、奨学のための給付金等の制度周知に努め、保護者の負担軽減を図る。 | 3.5 | | |
| | | 総務部 | 生徒が主体的に行動できるようにする。 | 式典・行事の準備や片付けを生徒主体に行う。 | 3.7 | | | |
| | | 教務部 | 主体的な学習習慣を身につけられるように支援する。 | ・職員朝礼等を利用し、定期テスト2週間前、多連休前に学習に対する呼びかけを行う。 ・学習時間調査を通して、生徒個々や教科別の学習時間を共有する。 | 3.3 | | | |
| | | 生徒部 | 学校生活や部活動をとおして健康の大切さを意識させるとともに、生徒が意欲的・自発的に行動することを支援する。 | ・生徒会活動や部活動、ボランティア活動等をとおして、生徒が自己有用感を高められるような取り組みを行う。 ・定期健康診断・保健だよりや講演会等をとおして、健康の大切さを意識させる。 | 3.2 | | | |
| | | 進路指導部 | 進路実現に向け生徒が自ら考え、判断し、表現する機会を準備し、支援する。 | ・進路希望調査、スタディーサポート、進路サポートなどを活用することで、生徒が自らの進路に向き合い機会をつくる。 | 3.4 | | | |
| | | 学年部 | 1年：生活や学習に主体的に取り組み、高校生としての基盤を作る。 2年：自己の課題に気づき、学習習慣を改善する。 3年：自己や地域の課題を意識した上で進路を考え、自分に必要な学習を行う。 | 1年：学習時間調査を利用して、授業を大切にしたい学習習慣の確立を目指す。挨拶や身だしなみにおいて、高校生らしいふるまいを身につける。 2年：面談をとおして自己を振り返る機会をつくり、進路目標に向かって学習に意欲的に取り組ませる。 3年：学習時間調査や面談等を通じて、自己の課題の確認や修正を行い、学習に向かう意識の向上につなげる。 | 3.2 | | | |
| | | 総務部 | 生徒が自己有用感を感じられる行事を実施する。 | 保護者・生徒・教職員が協力できる奉仕作業を企画する。 | 2.9 | | | |
| | | 教務部 | 読書に対する興味関心を高め、多様な知識や教養を身につけることによって、多様性を受け入れる態度を養う。 | ・図書館だよりを毎学期に2回発行する。 ・年2回の読書週間を実施する。 | 3.3 | | | |
| | | 生徒部 | 多様性を尊重し、人間関係力を高めるとともに、生徒支援に配慮する。 | ・いじめ防止、服装規定の遵守等についての方策を年間をとおして定期的実施し、安心・安全・快適な学校作りに取り組む。 ・あらゆる学校活動をとおして、段階的、系統的な人権教育の推進を図り、自他を互いに尊重できる集団づくりに取り組む。また、校内研修の充実を図り、生徒・教職員の人権意識を高め、よりよい人間関係の構築を図るための実践に取り組む。 ・支援を必要としている生徒に対して、関係する教員、組織と連携しながら対応する。 | 3.3 | | | |
| | | 進路指導部 | 自らの進路探究を通じ学ぶ力を伸ばし、地域の一員として地域社会に貢献しようとする志を育てる。 | ・進路補習等で生徒の進路志望を実現する学力を育成し、面接・小論文指導を行うことで生徒の進路志望と社会とのつながりを探究させる。 | 2.9 | | | |
| | | 学年部 | 1年：他者との協働活動を通して価値観の多様性を理解し、自己意識を高める。 2年：さまざまな活動で協働する姿勢を身につける。 3年：地域・社会とのつながりの中で、他者を意識した責任あるふるまいをする。 | 1年：部活動やHR活動において、他者と積極的に協力して活動する。 2年：学校行事や生徒会活動などで協働する場面をつくり、他者を尊重しながら取り組ませる。 3年：あいさつを率先して行い、身だしなみを整え、部活動や生徒会行事等の場にふさわしい態度で活動に取り組み、社会で通用する態度を養う。 | 3.2 | | | |